

平成 25 年度第一回魚津市行政改革推進委員会会議録

日 時	平成 25 年 5 月 22 日（水） 午後 2 時～午後 3 時 45 分	
開催場所	魚津市役所第一会議室	
出席者	<p>【魚津市行政改革推進委員】</p> <p>中村和之、慶野達二、青山芳枝、浅野朱実、岩井哲雄、岡本安克、吉田讓、若林忠嗣</p> <p>【事務局】</p> <p>沖本企画総務部長、武田総務課長、内海財政課長、宮崎財政課長代理、赤坂総務課行政改革係長、広田総務課主任</p>	
欠席者	なし	
開催形態	公開（傍聴者 2 名）	
議 題	<p>○議事</p> <p>1 取組みの整理について</p> <p>2 市の目指すべき姿について</p> <p>3 その他</p>	
14 : 00	事務局	<p>それではこれより、第 7 回魚津市行政改革推進委員会をはじめたいと思いますが、会議に先立ちまして、この 4 月の異動により事務局のメンバーが変わりましたので、ご紹介いたします。</p> <p>まずはじめに、武田総務課長です。</p> <p>続きまして、内海財政課長でございます。</p> <p>続きまして、総務課行政改革係、係長の赤坂でございます。</p> <p>それでは、さっそくですが会議のほうを進めていきたいと思います。</p> <p>本日の委員会でございますが、これまでの委員会における取組みを改めて整理させていただきまして、まずはその内容についてご確認いただきたいと思います。</p> <p>そのうえで、最終提言に向けてどういった結論を出していくのか、この委員会として改めて意思統一を図ったほうがよいのではないかというふうに思いますので、今後この委員会として検討していくべき事項を、今回事務局案として整理させていただきましたので、そちらについてもご確認いただき、合わせて検討を進めていただきたいというふうに思っております。</p> <p>それでは、この後の進行のほうは会長のほうにお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本日はご出席いただきありがとうございます。それではさっそく議事に入ってまいります。</p> <p>本日の議事でございますが、終了時刻 4 時を予定しております。円滑な議事の進行にご協力をお願いいただければ、と思います。</p> <p>で、先ほど事務局から説明がございましたが、昨年度本委員会として中</p>
	会長	

	<p>事務局</p> <p>間報告を取りまとめたところでございます。その中で大きな方向性についてのご議論をいただいたわけでございます。本日は、それを踏まえまして今後のこの委員会での検討の方向性、あるいは方針というものを定めてまいりたいというふうに思います。皆様には検討事項等についてご意見を頂戴できればというふうに思っておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは議題の1でございますが、「取組みの整理について」ということで事務局からご説明願ひます。</p> <p>それでは、説明させていただきます。座って失礼させていただきます。それではまず資料No.1のほうをご覧ください。</p> <p>公共施設のあり方検討に関する取組みの整理について、ということでございます。まず1の「これまでの取組み」というところに、これまでの委員会においてご説明してきました主な内容を記載させていただきました。</p> <p>皆様すでにご承知の内容ではございますが、魚津市におきましては、人口が今後さらに減少していき、それに伴いまして、市税収入も減少し、市の財政状況がかなり厳しいものになると予測されております。</p> <p>公共施設につきましては、市民ニーズが多様化してきている一方で、老朽化が進んできておりまして、また、今の施設の目的や機能を今のまま維持するということは多額の費用負担も伴いますので、当委員会において公共施設のあり方検討を喫緊の課題として位置付け、これまで会議を進めてきたところでございます。</p> <p>昨年度におきましては、計6回の会議を開催したところでございまして、人口や財政状況、公共施設の現状について確認するとともに、市を取り巻く環境やそれぞれの公共施設が抱える課題について整理をし、それらを中間報告において公表したところでございます。</p> <p>また中間報告では、今後各施設の方向性を検討していくための3つの検討の方向性というものについても、盛り込んだ内容としたところでございます。</p> <p>次に、今後の当委員会の取組みについてでございますが、2の「今後の取組み」というところに事務局（案）のほうを載せてございます。</p> <p>最終提言につきましては、ここにも書かれておりますが、平成25年12月を目途に市長へ提出していきたいというふうに考えているところでございます。</p> <p>最終提言のイメージと構成につきましては、まず資料の2のほうをご覧くださいと思います。</p> <p>資料2のほうでは、提言のイメージ案というものを載せてございます。</p> <p>中間報告につきましては、先ほども申し上げましたとおり、人口、財政状況、公共施設に関する現状把握と課題の整理、そして検討の方向性というものを盛り込んだ内容として公表させていただきました。</p>
--	---

最終提言につきましては、そういった中間報告の内容と合わせまして、各施設の具体的な方向性といった、今後当委員会において、ご検討いただく内容も盛り込んだ内容としていきたいというふうに考えているところでございます。

続いて、資料の3のほうをご覧ください。

資料の3のほうは、最終提言の構成案についてでございます。

ご覧いただきましたとおり、第3章までにつきましては基本的に中間報告で公表させていただきました内容のほうに当てはまってきておりますが、若干追加したい内容もございますので、ここで簡単にご説明させていただきたいと思っております。

まず、第2章の2番、財政状況についてでございますが、これまでの委員会の中でも、魚津市の行革について提言の中に記載していったほうが市民の理解を得やすいのではないかと、というようなお話も出ていたかと思っておりますので、この財政状況の現状のところ、魚津市が行革の一環として取り組んでまいりました職員数の推移について盛り込んでいきたいと考えております。

次にその下、3番公共施設の試算についてでございます。

公共施設の更新等経費につきましては、過去10年平均で約6億円支出しては、将来的には年平均で13億円必要であるというふうに試算をしているところでございます。

その将来的に必要な更新経費13億円を、例えば、これまでと同水準の6億円に抑えたとしても、人口のほうはどんどん減少していきますので、市民一人当たりの負担額で計算しますと、現状よりも増えていくということが単純計算で見えてくるかと思っております。

そういったことから、現状のまま施設を保有し続けると、市民の皆さんの負担もますます大きくなっていきますよ、といった厳しい状況をお示しするためにも、この試算のところ、市民一人当たり負担額の推計を盛り込んでいきたいと考えているところでございます。

なお、将来的な市民一人当たり負担額を現状の水準まで抑えらばなると、かなりの施設を廃止するなりしていかないといけないので、どの水準まで将来的な一人当たり負担額というものを抑えていくかということは、今後この委員会の中で検討していただきたいと思っておりますが、いずれにしても、現状の水準まで持っていくことはかなり難しいと思っておりますので、その埋まらない差額につきましては、公共施設のあり方検討以外の行革をさらに進めるということで補っていききたいと考えております。

5章の4番をご覧くださいと「さらなる行政改革等の検討」とございますが、そこで公共施設のあり方検討以外の行革をさらに進めていくべきだ、ということをご盛り込んでいきたいというふうに考えております。

次に3章の2のほうに「見直しにより目指すべき市の姿」ということが書かれてございます。

これにつきましては、資料の2のほうにも今後の検討項目として載せておりましたが、中間報告において3つの検討の方向性を打ち出したところでございますが、その検討の方向性に基づいて各施設を見直した結果、市がどうあるべきか、この委員会として市の目指すべき姿というものを描いて市民の方にお示ししたほうが、この公共施設のあり方検討というものを、何のためにやるのかということが、市民にとって理解しやすいのではないかと考えまして、この項目を盛り込んでどうかというふうに考えているところでございます。

なお、いつの時点の市の目指すべき姿を示すのか、というところにつきましては、この委員会のなかでご検討いただければというふうにも思っておりますが、事務局としましては、人口推計や財政状況、財政見通しにつきましては平成47年まで示されていることから、目指すべき姿につきましても平成47年としたほうがつながりがある分、分かりやすいのではないかと、いうふうに考えているところでございます。

次に、4章のほうですが、中間報告で載せました施設の概要や課題のほか、公共施設の方向性といえますか、見直し案のほうを盛り込んでいきたいというふうに考えております。

施設の方向性と合わせまして、どれだけの財政的な効果が見込めるのかということにつきましてもこの見直し案のところ記載していきたいというふうに考えておりまして、ここで示した財政的な効果を、5章の3の「見直しの効果」というところで集計をしていきたいというふうに考えております。

ここで、皆様に配布しております資料のうち、「参考」というものをご覧いただきたいと思いますが、今後この委員会の中で、各施設の方向性や市の目指すべき姿、そしてまた財政的な効果についてご検討いただくということになるかと思いますが、検討を進めるにあたりまして、この参考にお渡ししております公共施設検討シートというものを全施設分こちらのほうでご用意させていただきますので、このシートに基づいて今後各施設の方向性を検討いただきたいというふうに思っております。

この施設の方向性を打ち出していくということが、今年度のこの委員会において最も検討に時間が要するところではないかというふうに考えております。

なお各施設の方向性につきましては、第1回の委員会から皆様のほうにお願いしておりますが、出来るだけ掘り下げたもので、大胆に踏み込んだ提言のほうをお願いしたいというふうに考えております。

それでは資料の3に戻りまして、5章をご覧いただきたいのですが、こちらのほうがまとめとしまして提言というような位置付けになるものと

	<p>考えております。</p> <p>1の「まとめにあたって」では、基本的なまとめと申しますか、提言の考え方、導入部分について載せていきたいというふうに考えております。</p> <p>2の「目指すべき姿の実現」のほうでは、4章のほうでお示しします各施設の方向性が、市の目指すべき姿とどう係わってくるのかということ、この2の「目指すべき姿の実現」というところで盛り込んでいきたいというふうに考えております。</p> <p>ただ、如何せん施設が多いものですから、どのように整理してまとめていくかということは、今後また事務局のほうでさらに検討していきたいというふうに考えております。</p> <p>3の見直しの効果と、4のさらなる行政改革の検討は先ほどご説明したとおりでございます。</p> <p>それでは次に資料4のほうをご覧ください。</p> <p>提言提出までのスケジュール案でございますが、本日、第7回の委員会において、これまでの取組みや今後の取組み方針を整理させていただきまして、委員会としての意思統一を図るとともに、提言の構成や考え方が事務局案の内容で概ねOKだということであれば、この後、市の目指すべき姿について、ご検討をいただきたいというふうに考えております。</p> <p>また、第8回から第10回までの3回の会議のなかでは、各施設の見直し案について検討を進めていただきたいと思いますが、検討にあたりましては、先ほどご説明しました公共施設検討シートに基づいて進めていただければというふうに思っております。</p> <p>第11回、12回のほうでは、今のところ、最終提言の中身についてご確認いただく予定にしたいというふうに考えております。</p> <p>なにぶん、限られた時間のなかで数多くの施設を検討いただくということで、事務局としましては、会議の開催日の前に、事前にご質問やご意見をお伺いするなど、そのやり方をちょっと工夫しながら進めていきたいというふうにも考えておりますので、またよろしく願いいたします。</p> <p>議題の1については事務局からは以上となります。</p> <p>はい、ありがとうございます。議題1についてご説明いただいたところでございます。この議題1につきましては、これからの検討の枠組とスケジュールということでございます。資料が1から4までについてご説明いただいたところですが、順に一つずつ確認してまいりたいというふうに思うのですが、資料1にまとめていただいております公共施設のあり方検討に関する取り組みの整理ということで、私どもがこれまで考えてきたことをまとめていただいているのですが、このあたりはこういう理解でよろしいでしょうか。何かご質問等、ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。それではまた後ほど何かございましたらご意見をお聞かせいただくということにいたしまして、資料2のほうには提言のイ</p>
--	---

会長

		<p>メージということで、全体像をまとめていただいております。中間報告と書いてピンク色の紙を付けた部分、これがこれまで昨年度本委員会で取り組んできたことということで本年度は以下の3点について、考えていきたいということで、このような形でとりまとめを目指して、今年度委員会として検討を行うということでございますが、これについて何かご意見ご質問等ございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。ではこれも、おおよその方向性としてはこのイメージに沿った形で進めていく、ということで考えていきたいというふうに思います。</p> <p>それから資料3はもう少し踏み込みまして、提言の構成ですね、具体的な章立てみたいなものを提案していただいております。なにぶんこれはこれからの検討によって、若干変更をするところもあるかと思いますが、さしあたり、このような構成を意識しながら検討を進めていくというのが事務局からの提案でございますが、これにつきましてご質問、あるいはご意見等ございますでしょうか。</p> <p>よろしいですかね。各項目このようなことを書いていくということと、それから目指すべき姿、というところで平成47年度おおよそ20年後までを視野に入れて考えていきたいということだったかというふうに思います。それから現状の分析につきましては、市民の方々にご理解をいただくような数字をきちんと載せていくということが必要だというふうに思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>構成についてはまだ仮ですよ。</p> <p>そうですね。</p> <p>ちょっと中身がどうなっていくかによって、若干変わっていくかもわからないですよ。</p> <p>それではこのような形で進めていくこととしたいと思います。それで、その中の個別の施設につきましての方向性というか、具体的な提言に該当するのですが、それは参考資料というこの配布されました公共施設検討シートというような形で、具体的に各施設の方向性をこの委員会としてまとめていきたい、ということでございます。このシートの様式等についてはいかがでしょうか。現段階で何か付け加えた方がいいようなもの、あるいはスペース的にこれで大丈夫なのかということもあるかと思いますが、その当たりのところご意見等ございますでしょうか。この3番の施設の短期・中期・長期でどれかに丸をするというのは、これはどういう意味ですか。</p> <p>施設によって早急に手を着けないといけないものとか、ある程度計画を立ててから進めるとか、全体を見ながら進めるケースもあるかと思いますが、そういった意味で、こう短期・中期・長期とさせてもらったのですが、ただ漠然とした表現であるものですから、短期が何年以内なのかとか、</p>
	事務局 会長	
	事務局	

	<p>会長</p> <p>事務局 会長</p> <p>事務局 会長</p> <p>事務局 会長</p> <p>A委員</p> <p>会長</p>	<p>中期がどれくらいかというようなところまでは、ちょっと厳密にはなんともいえませんので、そういったところも、もしよろしければ委員会の中でご検討いただいて、例えば短期が何年だとか中期がどれくらいだとか、提言の中にこういったことを盛り込むかどうかも含めて、一度ご検討いただければと考えております。</p> <p>そうですね、短期って具体的に3年なのか5年なのか、いろいろな見方があると思います。</p> <p>1年以内も考えられると思います。</p> <p>1年というのもあるね。</p> <p>いろんな考え方があるかと思います。</p> <p>全体の計画が20年の中での短期ということもあるかもわからないね。</p> <p>そうですね。</p> <p>緊急を要するというものもあるかもしれません。というところで、こういう形で丸を付けていく、それから個別の言葉で補っていくということが必要かもわからないですね。</p> <p>方向性も維持・統合・廃止と、三段階、ということですね。このあたり、かなりやっているとドラスティックなというか、メリハリのついた提言になると思いますけれども、こういう形でよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、このような検討シートをベースにそれぞれの方向性などについてまとめていくというふうにさせていただきたいと思います。</p> <p>それから、資料4では提言までのスケジュールということで、非常にタイトなスケジュールになっております。かなり委員会の開催回数も増えたと思いますが、これくらいの頻度で検討は必要だろうということで、スケジュールを立てていただきました。このスケジュール的なもの、これでは間に合わないと、あるいは何かもう少し検討の必要性があるのじゃないかというようなこと、何かご意見等ございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>ちょっとこの見直しのもので、次回から各施設の見直し案検討ということで、9回・10回まで3回考えられているのですが、今話題になっている159の施設を、みなさんそれぞれ委員の方、得意で知っておられるところも全く行ったことがないところもあるだろうし、これをどうのこうのと言った場合に、その机上で紙の上だけで考えていて本当にいいのだろうかという心配がちょっと私自身あるんですよね。なにかこう、方法はないものだろうかということ、みなさんどのように考えておられるのか、そのへんがちょっと心配で知りたいところです。</p> <p>ありがとうございます。そうですね。ある意味ある種の判断を下すわけですから、我々には責任もついてまわるといわけですし、その責任を全うできるような形で判断を下せるかというところだと思いますが、まず159の施設全てを対象とするというところは、それでいいですかね。この</p>
--	--	---

	<p>提言では。</p> <p>事務局 そうですね、基本的には全て確認していただいた上で、方針等を出していただければと思います。</p> <p>会長 今A委員から出たご意見に関するようなことで、他にご意見はございませんでしょうか。</p> <p>B委員 まず資料2の検討の方向性というところなんですけれども、3つ書いてあるんですけれども、非常にあの、具体的にたとえば具体的なんでしょうけれど、もっとういって人口減少社会、少子高齢化社会で課題の整理がなされたところで、例えばどうしてもコンパクトさが要求されるのであれば、いかにしてそういうところに誘導していくかという方向性がないと、それを具体的に出さないとそういう方向にいかないのではないかと思います。これに3つあるんですけれども、漠然としているように私には受けるので、例えばコンパクトへの誘導をすることによって、例えばインフラとかいわゆる道路橋梁等のインフラの修繕等も少なくなることも可能性としてはありますし、住民サービスにしても、社会福祉にこれからどんどんお金がかかるわけですから、ここのサービスにおいてもコンパクトの方がいいということであるならば、そういうふうにいかに誘導していくかなんだろうと思うので、それは22年後になったら当然今60の人は82歳に、また80の方は102歳になるということが想定されるわけで、自然とこう、私のところは山手ですからどんどん過疎化が進行していっている中で、無理にコンパクトじゃなくて時間をかけてコンパクトということ考えたときに、そういった誘導、方向性としての誘導が必要なんじゃないかなと思ったりしました。</p> <p> それで資料3のところ私が気になったのは、市民一人当たりの負担額と書いてあるんですけど、これも意味はあるのかなと、これも意味はあるんでしょうけど、例えば少子高齢化社会が進むと人口が減ると。納税者、納税負担者一人当たりのいくらだとかね。逆に言ったら税金を社会福祉として受ける方々に、それだけの負担をかけられるわけがないだろうから、こういう状況になったら破綻しますよみたいなことを、ざっくりと書かないと説得力がどこまであるのかなと思います。一人当たりの負担額を挙げたところで、ああそうなのかということで終わっていったのでは、何のために書いたのか分からないから、例えば高齢化率が40%くらいになれば、支える人たち一人当たりいくらだとかね、そういうことが必要になってくるんじゃないかなと、そういうことを感じました。</p> <p> あと今と同じような話なんですけど、3万4千人の将来的な人口が想定されたときに、3万4千人近く、日本を眺めてみてそういった市を参考にどれくらいの収入があるのか。市によって、たくさんの企業があれば税収も法人税も入ってきて一概には言えないだろうけれども、似たような市で将来22年後の想定される魚津市で、3万4千人の市って一体全体税収が</p>
--	--

	<p>どれだけで、高齢化率が仮に何十%かわかりませんが、仮に4割ぐらいになっていたとすればいくらぐらいの社会保障費がかかったりして、どうなんだろうと。また3万4千人の市役所の職員は何人ぐらいが適正なのかとか想定して、ある程度組み立ててみるということが、非常に大事なのではないかと思います。それで、収入支出、市財政のイメージを出すことによって、例えば首長さんに説明するときもそうなんで議会に説明するときもそうなんで住民に説明するときもそうなんですけども、そうすることで理解がえられると思います。今までの話し合いの中で多少コンパクトな話が出てきているわけだから、じゃあどういふふうな体制がいいのかということが必要になってくるんじゃないかと、私は思うんですけど、いかがでしょうか。</p> <p>会長 はい、ありがとうございます。まず一つは検討の方向性というところで、誘導という、ここはよく分かるんですけども、じゃあどういふふうな形で行政システムみたいなものを構築していくかというところで、誘導していくというふうな形が必要ではないか、というご意見だったというふうに思います。幸い、20年以上の計画期間というものを与えられているわけですから、そういう視野でもって将来的にどのように誘導をしていく、あるいは将来像を考えていくというところは、確かに重要な視点だし必要なところだと思います。</p> <p>2点目ですね。一人当たりの負担額の推移というところですが、おそらく試算というところをどのような形で示せばよいのかというところだと思うんですけども、なかなか一人当たりの、例えば税負担みたいなものを考えたとしても、地方の財政というのは国からの補助金が入っているからそこだけでは捉えきれないところもあるし、一人当たりじゃあどれだけの経費がかかっているんだというところだと、先ほどB委員がおっしゃった様な問題も出てくるかもしれません。ということでなかなかどのような形で示したらいいのか少し悩ましいところではありますが、いずれにせよ、メッセージがきちんと伝わるような形でこういう負担の試算というものを提示してほしいというのは、我々委員共通の思いなのかなというふうに思います。これはちょっと、いろいろ工夫していただけますかね。丸投げすると申し訳ないですけども、財政指標みたいなものも必要だと思います。</p> <p>私自身は一人当たり負担額というのもそれなりに意味のある指標だと思ってまして、例えば一人当たり負担額が100万円ということはないですけどね、5万円だとか、10万円だとかいうと、それだけ他のサービスに使えるお金をこちらにつぎ込んでるんだということになるわけで、そうするとそれはもう少しいろいろな使い方があるんじゃないでしょうかというところの判断材料にはなるような気がしますし。一方で納税者一人当たり、あるいは高齢者の方々と支える支えあう関係といったところに着</p>
--	---

	C委員	<p>目するというところもあるかも知れないと思います。</p> <p>今ほどお話しいただいた点、それに関するようなこと、それから先ほどA委員のご意見ですね。このスケジュールで大丈夫かどうかというところが論点として出ているかと思いますが、その辺に関することでご意見いかがでございましょうか。</p> <p>A委員は丁寧になさいよということをおっしゃりたかったんだと思うんですけども、人間の身体で病気が発見されたとします。もうすでに内科的な処方では間に合わない。外科的な処方が必要だと。初期のときに内科的な処方を時間をかけていって、結果的に47年を想定しますけれども、もっともっと患部が広がってしまう、重くなってしまったと。そのときになってから外科的な処方では処理するとなれば、ずいぶん負担が違ってくると思うんですよ。どうせやらなければいけないんだったら、初期の段階でやるべきだろうと、時間をかけないで。丁寧にするのはもちろん否定するわけじゃないですけども、荒っぽく言うと先ほど事務局が言われたように短期・中期・長期、もしくは存続・合併、おおざっぱにこれでもって159を篩にかけてしまって、さあどうするって言った方がかえってわかりやすいのではないかと思います。一つ一つの事情とか、そういうものを列挙していくと、結果的には手を着けられない状況に陥ってしまうんじゃないだろうかなという気はするんですよ。</p> <p>それともう一つ、B委員が言われたとおり単純に治療するだけではなくて、この治療をすることによって誘導していくという言葉ですけども、この治療をすることによって、将来私たちの町はこうなりますよと、明るい何かを代わりに見つけ出して、それがそうなるかならないかは、そりゃ将来ですから、何にしてもその処方していくときに一方ではこうなるんですよという町の明るい未来みたいなものを描き出してやる。じゃあそうしましようよと、目の前の痛みは我慢して将来よくなるんだったらそうしましようよってというような凶面を見せるっていうことも必要なことではないだろうかなという気がします。</p>
	会長 D委員	<p>ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>今の二件とほぼ同じようなことかもしれませんが、今、各施設の重要度ですね。ランク付けっていうのは一つの目安になるのではないかなと思います。この施設はどうしてもなくしちゃならない施設なんだと、例えば学校なんかはなくしちゃならない。そういうふうにランク付けするのはある程度一つの目安になるんじゃないかなと思います。ただそのランク付けするに当たって、今までこの会の中では、例えばどこその公民館はこういうふうに活用されているからこうなんだっていうような意見っていうのは、今まで全く外部の意見というのは無いわけですね。そこらも若干そこを聞かないと、こちらだけで判断するのは、それはちょっといかがかなと、と感じるところがあります。</p>

	<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。一つ一つ丁寧に見ていくというところが大事だというご意見、それから大胆な方向性を示していくというのが今後の道筋をつけるために非常に重要というご意見、頂戴いたしました。</p> <p>一見すると何か違うようなことの見解に思いますけれども、きちんと事情を判断した上で大胆に判断するというところに尽きるのではないかとこのように思います。我々159の施設ということで、非常に多大な作業をこれからせねばならないというわけなんですけれども、その際に例えば委員会のスケジュールで3回で見直すというのだけでも、必要に応じてその中で補足的な説明が必要であれば、説明を聞く機会を設けていただいたり、それから実際に現地に行かないといけないということであれば、そういう機会を設けていただいたりということをしてしながら、丁寧に見つつ判断すべきところは判断していくというふうなスタンスが必要かなというふうに思います。この委員会の中に、例えば臨時でそういうスケジュールを取るってということも可能なわけですね。</p>
	<p>事務局 会長</p>	<p>みなさんのスケジュールがあれば、可能です</p> <p>もちろんそうですね。例えば私が一番わからない人なんですよ、ここでは。私はぜひ行きたい、他の方はだいたい事情はご存じでいらっしゃるというものもあろうし、それぞれの分野等でご承知になっている方もいらっしゃると思います。そういったところで必要に応じて、委員会としてというわけではなくて、時間をとって相談をしてもらおうというので構いませんので、事務局ができるだけ、これまでも丁寧にご対応いただいているところですが、より一層丁寧にご対応いただければというふうに思います。我々の方も、委員会の当日までに何か分からないこと考えておきたいことがあれば、事前に事務局の方に伝えてそれなりの対応をしていただくという形で進めていければというふうに思いますが、それでよろしいですね。</p>
	<p>事務局</p>	<p>あと委員のみなさんのおっしゃった現場の方の見解とかですね、ヒアリングするということになると日程的にも結構タイトなものですから、事前にこういう施設のことで担当課の話を聞きたいとか、そういった事前にご案内いただければこちらの方でもスケジュール調整なりそういった方々をお願いするというのも対応できますので、その方がより効率的なのかなと自分の経験的にも思います。</p>
	<p>会長</p>	<p>もちろん我々から最初はボールを投げるという形になると思いますので、それに対してできる限りご対応いただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>いかがでございましょうか。その他の点、お気づきの点ございますでしょうか。</p>
	<p>C委員</p>	<p>全く今の話題から、ちょっとはずれますけれども、中間のまとめを市広報に入れて、その反響みたいなものはありますか。</p>

事務局	<p>後ほどお配りいたしますが、1名の方だけ、ご意見をいただいておりますので、後ほどまたお配りして見ていただきたいと思います。</p>
会長	<p>パブリックコメントに対するということですか。</p>
事務局	<p>中間報告を出したことに對して意見をいただきました。1件。</p>
A委員	<p>1件あったんですね。しっかり見てる人もいれば、広報ですから私も必要ないとき見なかったりするところもあるんですけども、少し引き出すという作業をやればよかったのかなという、今からでもやれるのかなというのをちょっと思いがあります。言わないと聞かないというか、なかなか出てこないのかなという気がします。</p>
事務局	<p>市民の方は、どんどん人口が減っているとか高齢化になっているとか財政的にも厳しいだろうとか、学校が統合があまりうまくいってないなということも漠然とご存じなんですね。ただし、数字的にそういうものを示して個々にとということになると客観的な情報というのはやはりご存じないというのが実態だと思います。良い点でもあるし悪い点でもあるといえますか、例えば学校なんかは校区イコール地区ということで13地区、昭和27年に魚津市ができてからほぼ守られてきているような、ある面からいけば他の市から比べても優れた面もあろうかと思えます。しかしこれだけ小学校の児童数が少なくなって、出生数が300を今切ると、270から300の間というあまりにも急激な少子化になっているということになると、将来的なそれこそ平成47年ということになるとどういふ社会が来るかというのは、今、市民の方はわからないと思います。</p>
	<p>市の財政状況というのは、制度自体ががらっと変わるといろいろと変わりますし、それこそ国の方では道州制云々の話も出ておるんで。ただし今現に分かっているのは人口が必ず減っていくということです。もちろん市は定住人口の増加というところでいろいろと施策も講じているところですが、なかなかそれが上手く実には結びついていないというのが現状であります。生産年齢人口もだんだん減っていく、これは客観的な事実なんです。それで高齢化率も上がっていきます。それを将来魚津市として、ずっと継続して持続可能な行財政、市民の方が安心して安全に暮らしていただけるという視点に持っていくと、例えば学校でいえば今12校あるのが本当に大丈夫なのかというのが率直な思いです。やはり第三者的な皆さんの意見というのは、なんといいましょうか客観的なそのいわゆる数字とかそのようなものにも基づいたですね、そういうものを示していただくと非常に助かります。なかなかその平成47年度という時のその姿というのは見えなわけなんですけど、やはり必ずその人口とか高齢化、そういうわかっているものを頼りにですね、そういう持続可能な市の運営という視点でもって考えていただきたいと思います。</p>
会長	<p>わかりました。どのような形で意見を反映させていけばいいのかというのは、少し課題だとは思いますが、既に市当局がこういう委員会を作ると</p>

		<p>ということ自体が、市民から広く意見を聞きたいというところでもあるわけですね。それで、我々としてはそれを応えるべくそれぞれの立場から提言をまとめるというかですね、参画するという形になっているのだと思います。その上で、さらに色々みんなご意見を聞きたいというところ、確かに重要だと思います。ただ、それをなかなかこの会のスケジュールとして、よく総合計画とかを作るときにタウンミーティングとか、そういうことをされますけども、そのようなそういった手法は少し今回の場合はとりづらいのかなというところが、若干思ったりもしますので、なんらか別のやり方で利用したり、あるいは市民の方々の意見を広く聞くような工夫っていうのをしていきたいと、していければ、というふうに思います。</p> <p>議事録の公開、されてるんでしたよね。</p> <p>事務局 会長 事務局</p> <p>しています。</p> <p>ちょっと目立つところにさしあたりやっていただければと思います。それで、このいただいた意見は今ご説明されますか。</p> <p>今ほどお配りした、意見提出書様式というものが一名の方からいただきましたご意見になっております。意見とすれば、本庁舎だけでも早急に立て替えなんかした方がいいんじゃないかということで、書いてあるとおりのご意見の方をいただいております。</p> <p>あと2番の方が施設に付加価値を付ける方法も有効だということで、新川学びの森を例にご意見の方をいただいております。</p> <p>大変貴重なご意見だと思いますので、今後この委員会の中で検討していく際に、またこのことも踏まえてご検討いただければと考えております。</p> <p>会長 事務局</p> <p>はい、わかりました。ありがとうございます。これ1、2って書いてありますけどお一人の方のご意見ですか。</p> <p>お一人の方です。</p> <p>一応こういった様式をホームページの方に載せておまして、それに基づいてご回答をいただいております。</p> <p>会長</p> <p>わかりました。ありがとうございます。それではですね、今ほど提言の構成、スケジュールから始まって中身に関する事、そのようなご意見いただいたわけですが、これはできるだけ今後の検討に反映させていきたい、というふうに考えます。それではですね、また後ほどご意見あれば言っていただければいいと思うのですが、次の議題に移ってまいりたいと思います。</p> <p>議題の2は市の目指すべき姿について、ということで提言の構成の中という第3章の2というところですね。そこに該当するところを事務局のほうからご報告願います。</p> <p>事務局</p> <p>それでは説明させていただきます。提言の構成案についておおむねご理解いただいたということを前提にお話させていただきますが、公共施設の見直しを行うにあたりましては、三つの検討の方向性というものに基づき</p>
14:47		

進めていこうと、これまでの委員会の中で決定したところがございますが、何を目的として施設を見直していくのかということをお定めおくことが市民にとってもわかりやすいのではないかと考えまして資料No.5の方をご覧いただきたいのですが、ここにありますとおり観点を事務局案としてお示しさせていただきました。まず1番の「安心安全なまちづくり」というところにつきましては、耐震化が主な内容になってくるのかなと思っておりますが、検討の方向性に基づいて施設を維持していくと決めた施設につきましては、その耐震状況を速やかに確認、把握して、耐震化が必要な施設については耐震化を早急に進めるというような内容とさせていただきました。

次に2番の「学校教育の充実」についてですが、今後少子化が更に進んでいくということが予測されておりまして、複式学級となる小学校がますます多くなっていくということから、将来的には東西それぞれ小中一貫校ということを目指す、といった内容にしております。また小中一貫校の整備に当たっては機能を集約して進めていくということについても盛り込んでおりますが、小中一貫校についてはこれまでの委員会のなかでも何度か話に上がっておったかと思いますが、小学校と中学校で一貫性をもたせる、本来の意味の小中一貫校を目指すのか、それとも小学校と中学校を同じ敷地の中で併設した形というイメージでいくのか、もしくは小中一貫校ではなくて、市内、例えば東西それぞれ2校ずつ計4校の小学校の統合を目指すのか、ということであくまで事務局の案として書かせていただきましたので、今後各施設の方向性を検討していく中でこの表現についても当然変わってくるかと思っておりますので、あくまで叩き台としてご覧いただければというふうに考えております。

次に3番の「計画的効率的な行財政経営の推進」というところにつきましては、これまでの委員会の中でも話が出ておりましたが、長期的な視点に立って施設の更新等を行う必要があるということから、維持していくことにした施設については整備計画の方を策定していくといった内容をここで載せております。また施設の配置にも着目しまして、市民が利用しやすいような施設配置を目指すことも盛り込んでおりまして、先ほどB委員さんの方にもご意見いただきましたコンパクトシティといった話も、もしかしたらこういったところに絡む話になるのかなというふうにも考えておりますので、そういったところもまた委員会でご検討をいただければというふうに考えております。

事務局の方からは、この3点の方を提案させていただきますが、この他に掲げるべき内容があるのかどうか、またこの記載されている中身についても、もうちょっとこう変えた方がいいんじゃないかということがございましたら、どうかまたご検討を、ご議論いただければ、というふうに考えておりますので、よろしくお願いたします。

	<p>会長</p>	<p>簡単ではありますが、事務局からは以上となります。</p> <p>ありがとうございます。ただいま、施設の見直しにより目指すべき市の姿ということについて、事務局の方からご提案いただきました。本日はこれにつきまして、とりあえず現段階でこれから検討していくというスタートラインとして、このような整理が適切かどうかというところ、他に何か付け加えるべきことがないのか、あるいはこの中の項目に関してご意見を頂戴できれば、というふうに思っております。どこからでも結構でございます。ご質問、あるいはご意見等お願いいたします。</p> <p>学校教育っていうのを、一つ大項目でここで取り上げるっていうのは、何か事務局としてのお考えというのは、どういうものだったわけですか。</p>
	<p>事務局</p>	<p>これまでの委員会の中でも小学校というものが、大きな問題というか課題として上がっていたかと思えます。また市の方でも 38 の施策がございますが、学校教育の充実というところが市の重点施策にも位置付けられておりますので、そういった意味からもここに挙げさせてもらったということになります。</p>
	<p>会長</p>	<p>教育っていうのはこの委員会でもたびたび出ておりますけれども、よりよい地域を作り上げていく上で非常に大事なものですし、それは言うまでもございませぬし、魚津市の財政っていう面から見ても、少なからぬ規模を占めていますし、基幹サービスでもありますので、大項目の中で学校教育という柱を立てるっていうのは、必要だし大事なことではないかなと思えますけれども、これに関して何かご意見、若干踏み込んだ記述もありますけれども、いかがでしょうか。</p>
	<p>E 委員</p>	<p>この将来的にっていう期間というのは、どういうふうに思ったらいいんでしょうか。何故かと言いますと今できたばかりの学校とか、もう建て替えなきゃいけない学校とかがあります。もうすでに東中なんかは耐震で、今やるっていう、手を着けるっていう話になってます。そうすると、そこはもういじってしまったから、20 年後までとかってことになると、何かその足並みが揃わないとか、その将来的に小中一貫にするときに、すごい無駄遣いをするような感じにも見えるような気がします。</p> <p>今まで話の中で、どういう街づくりを目指すかっていう中で、その地域に何が必要かって考えて複合的な施設っていうのもあるのかなと思えます。実際に片貝なんかでは保育園と小学校が複合的にできています。こういうアンバランスを、どういうふうに上手く小中一貫とか将来的に納得して計画的にできるかっていうのを、すごく悩ましいなっていうふうに思うんです。</p>
	<p>会長</p>	<p>この委員会でも当初から小学校を統合していくっていうことの必要性というのは、かねてから指摘されてきたところですけども、じゃあ一回統合してまた統合する、またそれを統合するっていうとどうなるんだっていうご意見も確かにありました。それに対する答っていうのは、やっぱり、</p>

		<p>一つは長期的な、最終かどうかはわかりませんが、あるべき姿を示した上で、それに沿って多少はこうあるけれども進んでいくってことなんだろうと思います。それがおそらく、この事務局案に出ている、東西それぞれ小中一貫校とするという姿なんだろうけれども。これが果たしてじゃあ何年後の姿かというところは難しいですね。20年後なのか、40年後なのか、果たして何年後なのかというところですね。</p> <p>そこはこれから具体的な計画をこの委員会でやるのかどうかはともかくとして、詰めていかないといけないと思います。大きな方向性というのはいかがなんでしょうか。エッセンスは東西それぞれ1校と、それを小中一貫校ということだと思えるんですけども、何かご意見ございますでしょうか。</p>
	C委員	<p>3、4日前の日経新聞に、東京の品川区が小中一貫校を推進してまず走ってましてですね、たまたまちょっとかじった程度ですけども、二つを一つにする統廃合の手段として小中一貫校というのが今話題として出ているんですけど、これは駄目だそうですね。あくまでも教育的な理想を掲げて、それが小中一貫校であるというこういう目的を市長と教育長の二人が決断すると一応は生み出すことができるということらしいですね。全国で今、品川区にあるんですけど、他にはまだそんなに沢山なくて、教育特化とか、実験校的なところでありまして、また教育的な評価が出るというところまでは至っていない。まあこういうような状況です。</p> <p>ただ、魚津市全体の行革を進めていく一つのシンボリックな学校の変革というのは、他のものを進めていくときのよく理解される材料とっては失礼ですが、姿ではないだろうかという気はします。将来的に子供は少なくなるという事実がわかっているわけですから、私は踏み込んでみてもいいんじゃないだろうかという気はします。ただその場合には本当にここだけの提言でできるのか、もう一つ教育委員会との共同作業になるのか、そのへんのことは今後話し合わなければいけないことかもしれないです。</p>
	会長	<p>ありがとうございます。公共施設の統廃合をめぐって、行革というところで一つシンボリックなというかですね、象徴的な、あるいは誰にとっても身近なところでこうなりますよという一つの姿って言うものが、学校の問題だと思しますので、そこを少し具体的な姿を出してというのは、確かにこれから20年間という長期を見据えて行革していくところでは、非常に重要なメッセージになるんじゃないかなと思います。</p>
	F委員	<p>いかがでしょうか。</p> <p>やはり今までの経緯を見ますと、いろんな意見を一つ一つ丁寧に聞いて積み上げて集約しながら方向性を見出してはきてたんですけど、やはりある程度の大きな、こうだ、という指針じゃないんですけど、上からという言い方はちょっとあれかもしれませんが、本当に将来的にはこうしなきゃいけないって大きな目標を掲げてしないと多分話は進まないんじゃないかなと思います。</p>

		<p>やないだろうかと思いました。</p> <p>実際、今年度4月にちょうどPTA総会がありまして、児童生徒数とかいろいろ集約しているんですけど、やはり100人ほど減ってます。小学校60人とか、もう複式が目に見えてるねというのが単位会長会議の中でも出てましたし、小中一貫校って言う大きなスパンじゃないですけど、大きな目標っていうか、そこらへんを目指していくことが必要だと思います。逆に保護者の中にはただ子供が減ってるからっていう理由だけで学校統合していくのもどうかって言う意見も言われる方もいることはいます。</p> <p>黒部市の例なんかも見てますと、黒部市は来年度田家と東布施が合併になりますし、前沢と三日市小も進んでます。やっぱり周りの市町村の状況を見ながら魚津市は魚津市でやはり、将来的な部分を考えていく必要があると思います。意見を集約してってもきっとまとまらないだろうって言うのが、やっぱり保護者の意見ですね。それで結局ずっとここまで引っ張っていて、さらにまだこれを揉んでいくと、本当に20年後、30年後、一体何年かかるんだろうと思います。</p> <p>先ほどおっしゃられたように、耐震化は耐震化で別の物だっていうのは、保護者は重々理解しています。やっぱり耐震化は耐震化である程度のもをしてもらわなければ今の現状としては仕方ないことなので、そういった中でどうやって統合しながら新設校じゃないですけど、もっていくかっていうのが大きな課題なんだと思います。東中さんも、本当は新築して欲しいという非常に要望を出していたんですけどやはり予算的な面とかいろいろありました。吉島も東中も耐震工事に入るんですけど、トイレとか最低限はきちんと改善してもらえみたいです。</p> <p>やはりよく知事もおっしゃられるんですけど、教育は人なりっていうように、教育がきちっとしてこそその町が発展していくじゃないですけど、先ほどC委員も言われましたが、学校教育の充実って言うのが、一番、市民に分かってもらえる部分じゃないのかなと思います。やはり行政としてこうあるべきだっていうスパってことが重要と私は個人的には思います。</p> <p>ありがとうございます。ほかにご意見ございますでしょうか。</p> <p>私もね、ずいぶん前から学校学校って言う話を聞いているんですけど、今この資料5を見せていただいても、将来的にっていう表現がありますが、これ速やかになっていうふうになりませんか。荒っぽいかもしれませんが速やかになっていうことで150いくつの施設の見直しも一気にできるんじゃないかなって思います。今耐震だとか何とかってちまちま出しているような感じですが、20年先に百何十億足らなくなる、というようなものが見えているのなら、いっそのこと荒っぽいかもしれませんが、思い切ったらどうかなって言う意見です。</p> <p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p> <p>確かに民間だと、ここに大きな問題があって、ひよっとしたら倒産する</p>
会長 G委員		
会長 C委員		

	<p>会長</p>	<p>かもしれないということになると、何が何でもこれを乗り越えなきゃいけないということになるわけですね。こういう公共的なものだからなんとかなるだろうっていうのではなく、今G委員が言われたように速やかという思いをもう少し出して、提言の中で出していくことが必要かもしれませんね。</p> <p>やはりわかりやすい形で、この学校に限らず公共施設の将来像っていうのを示して、なおかつそれが市民の一人一人に負担を強いるっていうわけではなくて、そうすることが結局将来の魚津市にとって、一人一人の市民にとってよいことなんだっていうところを打ち出せる、メッセージとして出せるっていうところが大事なんだろうと思います。学校教育っていうのは、先ほども申し上げましたけど象徴なんだろうというふうに思います。ここをですね、今後我々の委員会の提言として、行財政改革を推進する立場の委員会としての提言としてもだしていくというところで、先ほどC委員もおっしゃられましたけれど、例えば教育委員会であるとか、そういう教育のサイドとの話をどう調整をしていくのか、というところも問題なのかなと、課題なのかなと思います。勿論行財政という立場からみて、我々はこういう提言をしますっていうことは可能だし、それは第一にすべきだと思います。ただ一方で、例えば小中一貫校という一つの制度に言及するということは、これがどういった類のもので、どういう効果があって、だから私たちはこれを提言するのですというところは、少なくとも、議論の道筋だけは示しておかないと何か唐突に出たような気がもたれてもちょっと困るということなので、そのあたりどうしていけばいいのかというのを、これからそれぞれの施設について具体的に考えていくんですけれども、その際の考え方というところでちょっと検討していければと思います。</p> <p>小中一貫校というのは先ほど事務局からもおっしゃいましたけど、いろいろありまして、本当に一体化するという学校もありますし、単に併設するという形も、これはもう一貫教育とはいいませんけれども併設校みたいなものもあります。例えば富山県内をみても富山市に芝園小学校・中学校というものがありますけれども、あれはおそらく併設校になるんだと思います。ただ共用スペースだとかがあったりだとかということで、小学生と中学生が触れあう場所も確保されていたり、図書館だとか共有スペースになっていたりとかというものがあります。それから数年前から既に多くのところでは取り組んでいますけど、小中一貫教育というのは、かなりいろんなところで言われてまして、それはカリキュラム自体を連続性を持たせようという、ハードの統合というのではなくて、ソフト面での統合ということなんでしょうけれども、そういうスタイルというようなことを、ここは聞きかじりでしか知らないんですけれども、ここでこういう一貫校ということを提言するというのであれば、多少なりとも我々としての共通認</p>
--	-----------	--

	<p>C委員</p> <p>会長</p> <p>B委員</p>	<p>識を持っておいたほうがいいのかもしれないというところは少し思いました。</p> <p>中学校1年のときに勉強についていけないということが顕著になるそうですね。それは小学校教育と中学校教育とが違ってしまいうんですから、この一番最初に躓くのが中学校1年ということです。それだったら小中一貫校にして、6年と1年と連携をさせて、スムーズにそれを乗り越えていけるような、5年6年のときからの勉強のやり方があるだろう、これは、言ってみれば教育的な理想というか見地にはなるだろうと思います。</p> <p>小中一貫校もありますし、それ以外のところですね、項目で言うと1番、3番というところについても何かお気づきの点があれば、あるいはそのほかに市の姿として考えていかねばならないことありましたら、ご意見いただけますか。</p> <p>私も、年間に施設の維持管理費の必要とする姿、また年間13億円更新時にかかるという、そういう状況がですね、イメージとしてね、22年後の姿はよく分かりませんが、さきほどちょっと言わせてもらった、市の財政のイメージというのがどういう状況なのかということ、やっぱりある程度つかまないと、今議論をしているなかで、じゃあ住民サービスをどの程度まで財政の中でできるか、施設がどの程度まで確保できるか、そういう危機感が必要だと思います。</p> <p>例えば先日テレビでやりましたが、夕張市の市長さんは25万何千円の手当てでやっているそうですね。その方は若い方なんですけども、都から派遣されて職員として行った後、市長に立候補して、それこそこの町をたてなおそうとして、それこそ男気でなられたような感じでしたけど、やはりこう破綻した市の惨めさというのを非常にやってみましたけれども、その22年後魚津市がどういう状況になっているのか、ちょっと私たち自身もちょっと想像がつかないところがあります。</p> <p>20年前というと、バブルがはじけてすぐの頃で、まだうかれていたような、私自身はそんな気がします。20年たった今、こうして行政改革なんていう話をしているわけですから、じゃあ22年後、どういう状況になるのかということ、まず頭の中のイメージでね、市の職員さんもそうですし、首長さんもそうですし、私たちが将来像を話すわけですから、そういうことを想像しながら、それに近いイメージをしてこういう話をしないんですね、違った話を議論して纏め上げたらかえって皆さんに迷惑かけるようなことになってしまわないかなと思ったりします。</p> <p>できれば、市の担当のみなさんがですね、こういう状況なんだよという、委員の皆さんわかってねというところから議論したほうが、私はいいような気がします。</p> <p>そのあたりのところ、最初の委員会でしたか、財政課のほうから一通り説明いただきましたけれども、なかなかイメージがしづらいところが確か</p>
	<p>会長</p>	<p>そのあたりのところ、最初の委員会でしたか、財政課のほうから一通り説明いただきましたけれども、なかなかイメージがしづらいところが確か</p>

	<p>にありました。</p> <p>これは魚津市に限らずどこの自治体でもそうなんですけれども、自治体の財政っていうのは、端的に言うとな国の地方交付税にかなり依存しています。その地方交付税はどのような基準でくるかって言うと、最低限行政サービスを提供する、提供するのに足りない分は出しましょうというわけなんですけれども、それがだいたい最低限の行政サービスというのは人口基準でくるんですよね。だから人口が減ると、それだけ自動的に財政的な縛りも非常にきつくなる、というところも確かです。じゃあその破綻するのかわからないのかということになると、また細かな数字をつめていかないといけないから分からない。それで、さらに困ったことかどうかよく分からないんですけれども、国の制度が変わると財政の状況も微妙に変わってきたりするかもしれません。</p> <p>先ほど事務局からもありましたけれども、20年というスパンで考えたら、道州制みたいなこともあるかもしれないといったときに、じゃあその財政の姿っていうのを詳細にシミュレーションしていくって言うのはかなり難しい作業ではないかと思えます。ただそのときに、人口は減っていきま、それから施設の更新は必ず発生しますっていう、その必ずというところをとらまえて、考えていこうというのがこれまでのスタンスだったわけです。確かにB委員のおっしゃられるように、これからの財政危機の程度って言いますかね、そのあたりのところもひとまずの理解が必要でしょうから、このあたり、もしあれでしたら財政のことは改めて説明してもらってのはどうですか。</p> <p>D委員 事務局</p> <p>市の財政の破綻っていうのは具体的にはどのような状況をさすんですか。</p> <p>魚津も実は財政再建団体という団体に指定されたことが過去にあります。昭和34年から5年間38年度までなんですけれども、財政再建団体だったんです。市でそのいわゆる施策決定ができないんですね。県といますか、国の指示に基づいて。勿論給料も下げられますし、使用料なりそういうのは上げられます。魚津市の固定資産税は高いと言われるんですが、あのときに、標準税率って言うのが1000分の14ですが、それを16ですか、制限税率に上げました。もちろんそれは昭和31年の大火による火災復興による区画整理事業とかですね、都市基盤整備にやっぱり相当な税収以上の物を借り入れてやったということで、財政再建団体に落ちた、ということが5年間ありました。</p> <p>今、夕張市が象徴的になってますが、現在の経済指標から見れば、魚津市はある程度健全財政ということが言えるかと思えます。ただし、魚津市も過去にそういうときがあつて職員給も下げられてですね、使用料、上げる、税金、税率も上げると、そういうことが過去にありました。私たちは先輩からしか聞いていませんが、そういうときは自分たちでいろんな行財政っていうのはできないと、国の指導のもとにするということで、政策的</p>
--	---

	<p>なことは全くできないよということでした。</p> <p>それで、159 の施設云々の話なんです、人口がピークだったのは昭和55年で、人口5万人を超えたというのは55年の9月でした。市民課でセレモニーまでやったんですが、それから若干横ばいになって、ストーンと、今最近5年間ぐらいでストーンと落ちてきました。ちょっとなかなかその人口を読むというのは難しいんですが、確かに日本全国減少社会ということで、まあおおげさじゃなくて有史以来の人口減少社会になるのかなと思います。ただし、人口減少というのを、例えばヨーロッパのほうなんかだとイギリスとかフランスなんかでも別に1億人いるわけじゃなくて、6千万、7千万の人口で豊かな国という形になっています。</p> <p>客観的なその数字だけをみると、魚津市の公共施設っていうのは多いんです。多いんで、これをいかにこれからのいわゆる社会にあったものに直していきたいということなので、みんな廃止しようというそういう視点ではないです。これからの時代にあったものに、いわゆる言葉を変えれば造り直していきたいというときには、いまある施設をそのまま更新というのは、これは芸がないだろうというような感じで見ています。</p> <p>ただ、魚津っていうのはもともと、今コンパクトシティっていうのはそのはやり言葉みたいな感じで言われているのですが、もともとコンパクトシティなんですね。ほんとに海岸線だと8キロしかなく、奥行だと25キロです。まして人が住んでいるところなんかはもっとすごいコンパクトなところなんですね。そこをうまく利用するという段になると、公共施設っていうのは、ある程度時代にあったものに変えていく必要があるんじゃないかなと思います。それで先ほど学校の例でもいろいろおっしゃいました、やはり委員の皆さんにはやっぱり大きな視点でですね、魚津はもう学校2つでいいとか4つでいいとかというような、大きな視点でもって提言をいただきたいなあというふうに思っております。</p> <p>それです、B委員からの先ほどのご意見というのも非常に重要な点だと思いますので、個々の施設、検討する際に、先ほどB委員のおっしゃられたところ財政的な視点というのは、重要になってくると思います。別に時間をとってあらましを説明していただいても、それはあらましでしかなくてなかなか全体像を知ることができないと思いますので、個々の施設の検討の中で何か腑に落ちないところ、あるいは先ほどおっしゃられた財政的な視点という面から見てどうなのかというところがありましたらご質問あるいは事前にご意見をいただくような形にして、できるだけ疑問を無くしたような形で検討を進めていければと、幸い当委員会には財政課長にもご出席いただいておりますので、その手のことも伺いながら進めていければと思うのですが、B委員いかがでしょうか。全体像はなかなか難しいかもわからないですけどもね。</p> <p>全体で6億円毎年かかっているのが13億円になるって言う数字が出</p>
--	--

会長

	<p>B委員</p>	<p>ただけでも、かなり苦勞してというか、いろいろ試算をされての結果だというふうに思っております。そこをベースにして考えることができるところまで考えてみて、勿論財政的な状況がどれくらい厳しいのかによって、これはこうこうだという判断が出てくるところだと思います。そのあたり、判断に迷って財政的な状況を知りたいと言うときには、それはしっかり教えていただくというふうなところで限られた時間の中で検討を進めていきたいと思っております。</p> <p>どうしても長期ビジョンを明確に設定しないと駄目だと思うんですね。ただなかなか長期的な将来の姿っていうのは見えにくいところが、今おっしゃったように確かにあるんで、それに近いものを想定しながら、じゃあ例えば20年後なら10年後はどの程度までいきましょう、5年後はどうしましょう、財政的にそういう20年後はこうなるだろうから、いかにしてコストダウンを20年目標にしていくかということもしていかなきゃならない。施設がそうなんですけど、施設を管理する人間の労務費は当然維持的にあるわけでしょうから、そういったことも考えると、具体的にそういうことを設定することによって相当、コストダウンになると思います。その分をまたサービスに回すとか。いろいろ議論は出てます、やらなくてはならない部分に回していけるわけでしょうから、削減できるところは削減見通しを立てないと、じゃあどうするってことはできないと思います。</p> <p>ついでに庁舎の話出てましたけど、最近長岡市が新しい庁舎を立てたという話がありました。アリーナと一緒の庁舎なんですけど、体育館と一緒に、イベントホールも一緒に、6階建てか5階建てのそういう建物なんですけども、駐車場も地下に一杯、100何十台の駐車場があって、そういったところを時間があれば見てくれば、結構庁舎は参考になるのかなと思ったりしました。個別に時間があればそういうのも眺めてくるというのも一つの将来的に魚津市のためなら、いいんじゃないかなと思ひまし。</p> <p>そのあたりなかなか委員会としていきたいと思いますというのは難しいかもわかりません。</p> <p>それでB委員のご発言の前段のところにあった、いろいろ工夫できるところでコスト削減できるんじゃないかという話でした。これはやはり委員会で言われるまでもなくやっていただきたいと思ひます。これはもう大前提だと思います。だから、きちんと公共施設の維持管理をするという上でライフサイクルを考えて、できるだけ施設の機能を維持していくっていうそれぞれの工夫ですね、そこは事務局の方々がご専門でいらっしゃるはずなんですよね。それについては相当の知識を持っていらっしゃるはずだし、我々がとやかくいうよりもいろいろなことを、スキームから始まって技術から始まってできるはずなんで、それは勿論提言には必要とあれば書きますけども、それは当然のこととしてやっていただきたいと思ひます。</p>
	<p>会長</p>	

	<p>C委員</p> <p>事務局 会長</p> <p>C委員</p> <p>A委員</p>	<p>その上で我々としては、判断に迷うような施設の統合だとか、配置だとか維持だとかというところを全体的な立場から見て、提言していきたいということじゃないかなと思うんで、ぜひB委員が前段でおっしゃったところ、大事なところなんでそれは自立的にやっていただきたいと思います。</p> <p>私どもの検討する守備範囲というのは、箱物、159、これをどうするかということだと思います。それに付随する例えばコストを下げる方法ならいろいろあるだろうと思いますね。例えば官設民営の方法があったり民設官営の方法があったりいろいろあるだろうと思いますけども、我々はそういうことを検討する、それも含めて検討なのか、それでもはあくまで箱物をどうするかというところに絞って検討する場なんですか。</p> <p>基本的にそれで考えています。</p> <p>まあそこは微妙なところだと思います。箱物なんだけれど、箱物をどうマネジメントしてきましようかというところで、今までの仕組みの中でやれることは、それはもう事務局でちゃんとやっていただきたいというわけです。ただ今までの仕組みを変えないといけない、それとかなり大胆に変えないといけないというふうなところで、例えば民営だとか民間の活用だとかというので、あるいはそこでご提言いただくということもありかなという風に思いますけども、それは箱物の民営化の根幹部分みたいなところだとしたらそれはそうですね。</p> <p>どんどん広がって行って料理しきれなくなってしまうという懸念もあるもので、例えばこれも最近の日経新聞で出てましたけれど、九州のある町の図書館をツタヤさんに運営を任せてしまったら、ものすごい入館者数になって、そしてまた喜ばれているというそういう手法なんかでもありました。</p> <p>近所の本屋さんからは苦情が来ているみたいです。</p> <p>経費節減の話の一例としてここでふさわしいかどうか、自分で見ていてよく分かるのは、ありそドームという立派な体育館を魚津は持っていて、もともとの総合体育館、あれも市の資産で年間何千万かおそらく人件費などがかかっていると思います。こういうことをちょっと試してみたいんですが、あれを今耐震しないと公共の建物としてはうまくないだろうということで、体育館が二つあってそれも耐震するのかという話に当然なと思います。じゃあものすごい荒っぽい話なんですけども、あれを民間に売る、例えば体協。体協に売った場合に、これは市としては責任が離れて、耐震、ものすごく荒っぽい話ですよ、だけど耐震しなくてずっと使おうと思えば使える建物なんですよね。魚津の人たちがあれをそのまま受益者負担として、今100円かそこらだと思うのを200円とか300円とか払って使っても、私らはあれをつぶして欲しくない、利用者がそういう声であれば、そういう方法も含めてこう考えてかなきゃいけないのかどうなのかということだと思います。</p>
--	--	---

	<p>会長</p>	<p>そういう施設が多々あるような、公民館とかなんかはコミュニティの中心だから大切だと思いますが、例えば天神山の野球場について、桃山の野球場があるからあれはいいだろうと、二つもいらないだろうということになったら、野球協会で運営する、安く買ってもらうといった方法もやっていかなければいけないのかなと思います。</p> <p>施設のあり方としてどこまで踏み込んでやるかっていうと、基本は先ほど参考資料でお出しいただいた、維持・統合・廃止だと思います。ただ廃止というくくりになったとしても、それは市の施設としては持たないって言うことはあり得て、例えば基本的に廃止、但し民間で活用できるならばその方策を考えていくとか、あるいは何年までにできなければ廃止、だとか、そういうふうなニュアンスの書き方、提言というものは少し考えていかないといけないのかなあと思います。</p> <p>じゃあ体育館を体協に引き受けていただいて利用料金を上げてだとかという、あるいは引き受けていただくにあたってどういう契約です、どういうスキームでだとか、というところまでは、これはもうとてもじゃないけれど一つの施設に一年くらいかかりますので、できないだろうと思います。その意味で方向性というところを出していければと思います。</p> <p>いかがでしょうか。若干いろいろな見地からご意見がございましたが、基本的にこの施設の見直し、目指すべき市の姿という資料のオについて、この大枠ではこれをスタートとして検討を進めていきたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、この議論は一つここで区切りとさせていただきたい、というふうに思います。</p> <p>それでは、ほかに何かご意見ございますでしょうか。今日の全体の議論を踏まえてどの点からでも結構でございます。</p> <p>次回から、何を検討するかというその具体的な施設に関するスケジュールってのはこれから作成されるんですか。</p>
	<p>事務局</p>	<p>そうですね、次回から各施設の方向性について検討することになるんですけど、事前にシートをお渡ししてどの分野から進めるのかどうかについても、改めてまたご連絡という形にはなるかと思えます。</p>
	<p>会長</p>	<p>進め方はいかがでしょうか、どこから手をつけたほうがいいんじゃないかという、そういう何かご意見いかがでしょうか。なければ、基本は昨年度検討した順番ですか。</p>
	<p>事務局</p>	<p>もしくは、昨年検討していただきましたこのAの市庁舎から市営住宅、公園その他まであるのですが、シートを初めて皆さんに提示して実際こうやっていく上でシートの書きにくさとか、議論のしにくさとかいろんなことがあったと思うので、勝手な私の思いとすれば、この中で議論しやすい取っ掛かり安いのをまず一回目にやってみて、その上で今度はちょっと重たそうな施設、次の議論につながるような学校関係をやってみて、それで</p>

		<p>最後に福祉とかっていう順番でやってみてはどうかと思っていました。</p> <p>例えば市の庁舎とか市営住宅、公園とかっていうのは、公園なんかっていったらいくつもたくさんあるんですけど、見方が同じ感じになっていくと思います。市の庁舎と市営住宅と公園、AとGをまず一回目やってみて、合わせてシートの内容も検討したりという形で、次に進んでいくのも一つの方法かなと思っております。</p> <p>比較的各委員の間でコンセンサスが取れてるかなと、一丁前の議論をできるようなそういったものもありますし、これはどうしたらいいかわからないっていう点でコンセンサスがあるようなものもあります。ま、およそ去年の、昨年度の議論とかを参考にさせていただいてそれだったら、わりと同じような方向になるだろうなっていうところを先にやるというのも、それは一つの考え方だと思います。多分ご異論がなければそのようにしていただいても結構だと思います。</p> <p>次回の会議の前までに先ほどの検討シート、全施設分を送らせていただくので、それに対してご質問や聞いてみたいことがありましたら、会議の時間も限られておりますので、事前にお聞かせいただければ、当日すぐにお答えしてということで、有効に時間を使えるかなと思います。そういったやり方を事務局としてはしていきたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。</p> <p>事前といってもあんまり直前だとね。</p> <p>余裕を持った形で送らせていただきます。</p> <p>直前だと逆に読む暇がなかったりしますので。</p> <p>そうですね。</p> <p>それでは、事務局のほうで必要な資料をそろえていただきながら、次回以降は各施設の方向性について検討を進めていきたいというふうに思います。やはり本年度の検討は非常に真摯な検討が求められているところがございます。皆さんには大変多大な労力を要するような作業をお願いして恐縮でございますが、一つよろしくお願ひいたします。</p> <p>それではそのほか事務局のほうから何かございますか。</p> <p>最後に次回の委員会の日程についてお知らせいたしますが、皆様の日程調整の資料をいただきまして確認しましたところ、一日だけ空いております。8月9日金曜日になります。午後からやりたいと思います。</p> <p>午後3時からということでやらせていただきたいと思います。また場所等、詳細については改めてご連絡をさせていただきたいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。以上です。</p> <p>それではこれもちまして第7回の委員会を終了いたします。本日はお忙しいところ、まことにありがとうございました。</p>
15 : 45	<p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>以上終了</p>